

レンゲ・中瀬沼周辺調査

目的

レンゲ沼バリアフリー探勝路の木道及び中瀬沼探勝路の状況を調査し、利用及び保全に資する

結果

調査日 6月21日



調査数日前に雨が降りましたがまだ木道は雨水が残っていました。下に1cmほどの空きがあるようですがほとんど落ち葉と土で埋まり、水は引いていきません。下の写真で判るように留め具があるのでつなぎ部分をそれぞれ5cmカットしても全体に影響はないと思う。

調査日 7月19日



調査を3時から予定していた日に、胴長を付けた若い男性がサイト芝生をうろうろしていて、胴長姿は珍しいので福島大学学生さんが調査かなと思っていたらスコップで芝生をはぎ取った様子。変だと思ってサイト職員が確認すると釣りのミミズを取るためとのこと。その後すぐ逃げた。あまり大胆だったのでまさかと思った私たちのミス。



前日雨が降り、木道は水たまりは相変わらず、中瀬沼への木道から中瀬沼東屋までの道・東屋下った所は水はけが悪い。中瀬沼からのオーバーフローとなっている。
乙女沼の木道も全体がかしいでいる。一部は踏み抜いている状態で危険である。



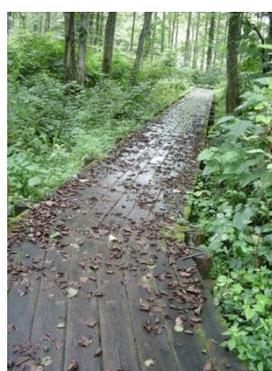
エゾアジサイが今が旬とばかりに咲き誇っている。カラコギカエデの大きな木が中瀬沼駐車場からの道にあるが、できたての種が赤く、遠くから花のように見える。イワガラミもいつものところに咲いている。トウダイグサも目につく。



調査日 8月22日



お盆を過ぎてから雨が降り続けているので木道は大変滑りやすい。レンゲ沼から中瀬沼へ行く木道は落ち葉も目立ち始めた。乙女沼の木道の踏み抜いたところは以前そのままとなっている。サイト事務所には伝える。



ジュンサイがまだ目立つ。ホツツジもいつものところに咲いている。ギボシ・カンボクの実・カラコギカエデの種などが目につく

調査日 9月1日



乙女沼の木道が修理された（応急処置）ので見てきた。少し修理の残骸が目立つ。



8月半ばから雨ばかりだったが、今年はずいぶん花が大きく、多く花をつけている。タデも例年より多く、ワレモコウは通常。ただ、折られるせいか、だんだん少なくなるような気がする。

*10月26日



朝方サイトステーションに出向いたら、駐車場から玄関のエントランスすぐに異様なものを見つけた。鳥の足のようにも見えたが周囲に羽が散乱してるわけでもなく、肉片などもなくわからず、事務所に許可を貰って移動する。図鑑で調べたらオオバンの足とわかる。おそらく狐等におそわれ、足だけ落していったかと思われる。

調査日 11月 1日



秋も深まり、レンゲ沼も草紅葉となっている。蔓性のアケビやサルナシ、ツルウメモドキなどがからマツチる木も全体が良くわかるようになっている。雪で本体の木が折れるようになってきているのでレンゲ沼の蔓性の分布図が変わってくると思われる。レンゲ沼の萱・葦の浸食が進んでいるのが良くわかる。

考察

3月から4月の雪が5月になっても残るだろうと言われていたにも関わらず、5月初旬の予想外の暖かさで一気に芽吹き、オオヤマザクラもあつという間に開花し終わってしまったのにはとても驚かされました。7月も雨が少なく、降るときはピンポイントで土砂降りで、レンゲ・中瀬沼と剣ヶ峰で雨の様子が違っていました。蔓性ではアケビのなりは今一つ良くなかったようにおもいます。ツリバナの色が濃く良く咲いていました。

レンゲ沼木道が修理されて早2年目が過ぎます。商工会観光部会の遊歩道整備も最近はレンゲ・中瀬沼は行われていません。モニタリング調査も要望箇所を上げるだけでなく、関係機関に要望しつつ改善策を講じたいとおもいます。特に木道部を含むバリアフリーであることを考えると、悪いところはすぐ直す体制にしてほしいです。

*裏磐梯サイトステーションの27年度来館者数をいただきましたので添付いたします。